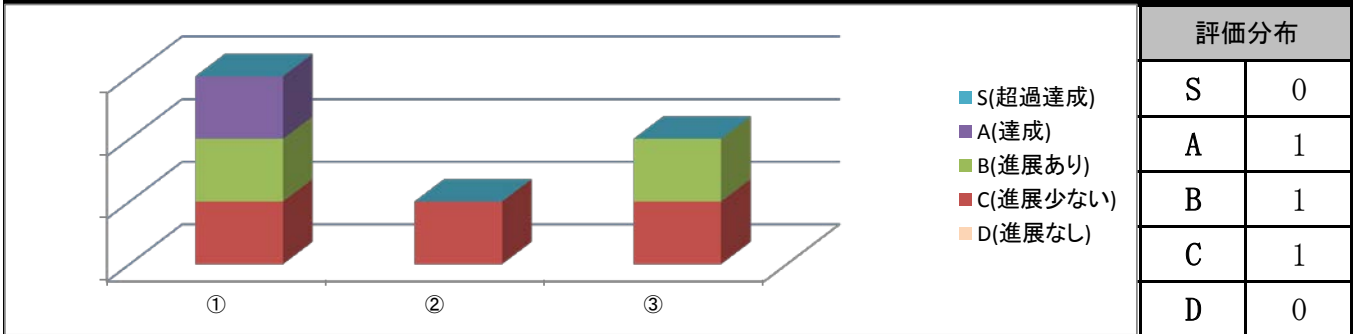


平成29年度 港区政策評価シート

1 政策名・所管部門

政策名	港区の特性を生かした個性ある商業集積の形成を支援する	政策No.	17
所管部	産業・地域振興支援部	関係部	—

2 展開する施策の評価



3 主な施策の取組状況

①	施策名	魅力あふれる商店街の支援				評価	A
	成果目標			活動指標			
	商店街の集客力が高まり、活性化している			商店街活性化事業（商店街の整備及び活性化を推進する事業）に対する助成件数			
	26(当初)	29(目標)	27(実績)	28(実績)	29(予測)	達成状況	
	7件	9件	8件	10件	8件	未達成	
	施策の取組状況		<ul style="list-style-type: none"> ・ 商店会が自ら計画し実施する商店街の整備及び活性化を推進する事業の経費の一部を助成しています。 ・ 平成28年10月に実施した「全国交流物産展in新橋」は、新橋駅前S L広場だけでなく区立桜田公園を会場に加え、参加自治体を全国22都市から35都市に拡大し、開催しました。区内商店会も出展し、物販販売を通じて区内商店会と全国都市の交流拡大を図っています。 				
②	施策名	商店会のマネジメント力の向上				評価	C
	成果目標			活動指標			
	商店街の組織力が向上し、活動が活発化している			商店会(港区商店街連合会に加盟している商店会)に加盟している商店数			
	26(当初)	29(目標)	27(実績)	28(実績)	29(予測)	達成状況	
	3,034店	3,100店	3,020店	3,001店	2,935店	未達成	
	施策の取組状況		<ul style="list-style-type: none"> ・ 商店会の加入促進策に対し、補助金制度などで支援を続けてきましたが、年々減少しており、大きな要因として港区商店街連合会を脱退する商店会が出てきたことが挙げられます。既存の補助金制度に加え、港区商店街連合会と区が連名で加入促進パンフレットを作成するなど、支援を強化しましたが、実績を回復することはできていません。 ・ 専門コンサルタントによるアドバイザー派遣事業を実施し、商店会の組織的な活動を支援しています。 				
③	施策名	個性に満ちた元気な個店づくり				評価	B
	成果目標			活動指標			
	個性に満ちた個店が増え、商店街等が独自の魅力を創出している			店舗を改装した店舗数			
	26(当初)	29(目標)	27(実績)	28(実績)	29(予測)	達成状況	
	6店舗	8店舗	4店舗	4店舗	5店舗	未達成	
	施策の取組状況		<ul style="list-style-type: none"> ・ 商店会に加盟している小売業・飲食業等中小企業者(個人も含む。)が、店舗を改装する際、アドバイザーを派遣し、改装計画作りを支援しています。また、改装にかかる費用の一部を助成します。 ・ 商店街の空き店舗活用事業(チャレンジショップ、交流施設等)に係る経費の一部を助成しています。 				

4 予算額・決算額・執行率（単位：千円）

年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
予算額	280,165	299,465	289,915
流用・補正	△ 7,447	△ 21,874	—
決算額	214,165	230,012	—
執行率	78.5%	82.9%	—

予算・決算額の推移
 ・平成28年度の予算額は、区政70周年記念事業として、港区商店街連合会が増額して発行・販売した「プレミアム付き区内共通商店券」の経費の一部を補助したこと、商店街多言語対応事業を新たに実施したことなどから微増となっています。

5 政策を取り巻く社会状況等

社会状況等の変化
 ※基本計画策定時からの社会状況等の変化、国や他自治体の取組状況
 ・近年、消費志向の変化、流通構造の変化、情報通信技術の変化、再開発の進行、訪日外国人観光客の増加等により社会経済環境の変化が急速に進んでいます。
 ・国の月例経済報告、東京都の「中小企業の景況」、区の「中小企業の景況」から、小売業に関する経済状況は好転しておらず、また、区内商店街数は減少傾向にあり、経済状況はむしろ減退しているものと考えられ、更なる商店街振興施策が求められています。
 ・訪日外国人観光客が大幅に増加する状況を受け、国や他自治体では、訪日外国人観光客を取り込むためのインバウンド関連施策や、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向けた外国人受入体制の整備を図る施策を実施しています。

区民の意見等
 ※区民アンケートや調査、区民から寄せられた意見等
 ・平成27年に実施した「港区における区民の消費に関する調査報告書」では、生活スタイルが多様化したことに伴い、消費行動も多様化しているとしており、区民の要望が多岐にわたることが確認できます。
 ・平成28年に実施した「港区における商店街・商店等実態調査報告書」では、区内各商店の意見を集約しており、全体の3割以上が「新たな顧客・販売先」「自店の効果的なPR」「人材確保」「人材育成」を経営上の課題として挙げています。

6 一次評価（所管部門による評価）

政策の達成状況
 ・「魅力あふれる商店街の支援」では、商店街の多言語対応に関する施設整備などを補助する事業を開始するなど、順調に実績をあげています。また、商店街振興に観光振興を掛け合わせた施策として「港区ワールドフェスティバル」や「商店街と全国都市との交流物産展」を実施し、成果をあげています。
 ・「商店会のマネジメント力の向上」では、港区商店街連合会と連携し、加入促進策を図ってきましたが、実績を回復することはできていません。
 ・「個性に満ちた元気な個店づくり」では、一定の実績は上げているものの、既存施策が実施されてから10年以上経過しているため、活動指標は目標に達しておらず、事業の再構築や新規事業の創設が必要です。

今後の方向性
重点的に取り組む施策・課題
 ・各商店街エリアで特徴が大きく異なるため、平成28年の調査結果に基づき、エリアに即した施策を検討・実施する必要があります。
 ・訪日外国人観光客の増加を好機と捉え、区と港区商店街連合会だけでなく、港区観光協会等とも連携し、商店街振興と観光振興を結び付け、より一層集客力を高める施策を検討・実施していきます。

7 二次評価（港区行政評価委員会による評価）

	<input type="checkbox"/> 十分達成しています	<input type="checkbox"/> 概ね達成しています	<input checked="" type="checkbox"/> 達成が不十分です
政策の達成度	・活動指標「商店街活性化事業（商店街の整備及び活性化を推進する事業）に対する助成数」「商店会に加盟している商店数」「店舗を改装した店舗数」については、指標が目標に達していません。		
今後の方向性 重点的に取り組む施策・課題	・区の産業や文化を踏まえ、消費者のニーズを的確に把握し、商店街がにぎわうことにより、まちのにぎわいが起こるよう、「港区ワールドフェスティバル」のような商店街振興と観光振興を掛け合わせた取組をさらに展開するなど施策の強化が必要です。 ・ICTを積極的に活用するなど商店街振興のための施策の強化が必要です。		

施策① 魅力あふれる商店街の支援

施策担当課	産業振興課	関係課	観光政策担当	評価 (S~D)	A				
成果目標	商店街の集客力が高まり、活性化している								
活動指標	26(当初)	29(目標)	27(実績)	28(実績)	29(予測)	達成状況			
商店街活性化事業（商店街の整備及び活性化を推進する事業）に対する助成件数	7件	9件	8件	10件	8件	未達成			
活動指標の説明、達成状況に関する特記事項	商店街活性化事業に対する助成件数は毎年増加していましたが、平成29年度については予定していた2事業が不測の事態（東京都の道路整備に合わせて街路灯整備を予定していたが道路整備実施時期が遅れたため街路灯整備も平成30年度以降にせざるを得ない等）で申請できず、達成状況は未達成となっています。しかしながら、平成28年度からは多言語対応のための整備事業も対象とするなど、今後の助成件数の増加が期待されます。								
No.	施策の推進のため取り組んでいる事業								
1)	商店街地域コミュニティ拠点づくりと活性化への支援				産業振興課、観光政策担当				
	全体計画 目標 (32年度末)	現 状 (26年度末)	必要事業量	前期（事業計画）		後期			
				27年度	28年度	29年度	計	(30~32年度)	
	7 商店街	5 商店街	2 商店街	1 商店街 (新規)	1 商店街 (継続)	1 商店街 (継続)	1 商店街 (新規)	1 商店街 (新規)	
	商店街散策 マップの作成 30,000部 (日本語) 20,000部 (外国語)	—	30,000部 (日本語) 20,000部 (外国語)	計画	5,000部 (日本語)	5,000部 (日本語)	5,000部 (日本語) 5,000部 (外国語)	15,000部 (日本語) 5,000部 (外国語)	15,000部 (日本語) 15,000部 (外国語)
				実績	1 商店街 (継続)	1 商店街 (新規) 1 商店街 (継続)	1 商店街 (継続)	1 商店街 (新規)	—
8,000部 (日本語)				12,000部 (日本語) 5,000部 (外国語)	44,000部 (日本語) 7,500部 (外国語)	64,000部 (日本語) 12,500部 (外国語)			
遅延理由	—								
2)	商店街のにぎわい向上の支援				産業振興課				
	達成状況	芝商店会の商店街変身戦略プログラム事業が平成28年度で終了し、平成28年度からは三田商店街振興組合が本事業を実施しています。平成29年度は東京タワーと連携し、地域を活性化させるための事業に着手しています。							
	課題	計画から実施まで複数年かけての事業になるため、商店会全体としてモチベーションの持続が必要になります。また、施設整備など高額になる事業や維持費がかかる事業に対して、事業実施が有効か、商店会の負担が可能かなど見極める必要があります。							
3)	地方都市との交流の促進				観光政策担当				
	達成状況	平成28年10月に実施した「全国交流物産展in新橋」は、新橋駅前S L広場だけでなく区立桜田公園を会場に加え、参加自治体を全国22都市から35都市に拡大し、開催しました。区内商店会も出展し、物販販売を通じて区内商店会と全国都市の交流拡大を図っています。							
	課題	参加希望自治体が多いイベントですが、会場規模の制約により今以上の拡大が困難です。物産展で得た他自治体とのつながりを活用し、区の観光・商店街振興につなげていくほか、区から他自治体のイベントに参加し、交流の更なる拡大と情報発信を強化する必要があります。							
4)	観光資源、大使館などを活用した商店街活動の支援				観光政策担当				
	達成状況	平成29年1月から3月に実施した「港区ワールドフェスティバル」の期間中、区内商店街117店舗で商品の購入・飲食された方を対象に、区内大使館80か国の情報が掲載された「港区商店街ワールドカード」を配布しました。配布したカードは、「港区ワールドカーニバル」での抽選会の抽選券となる仕組みとしました。							
	課題	今後は、商店街の活性化を一層推進するため、より多く的大使館・商店の協力を得て、イベントを拡大していくほか、観光事業と商店街とのマッチングを一層推進する方策を検討する必要があります。							

	商店街の利便性の向上 産業振興課	
5)	達成状況	商店街が公衆無線LANの環境整備などを実施する際の経費を補助する補助金事業（商店街多言語対応事業）を実施しています。
	課題	商店街に対する各補助事業は、東京都の間接補助事業であることが多いため、東京都と連絡を密にし、今後の動向を予め把握することが重要です。
	安全・安心な商店街づくり支援 産業振興課	
6)	達成状況	商店街のバリアフリー化、高齢者や子どもの見守り、防犯や震災対策などの事業経費の一部を補助する補助金事業（商店街活性化事業）を実施するとともに、他部署、他機関で実施している補助事業等を周知することで安全・安心な商店街づくりを図っています。
	課題	安全・安心な商店街づくりの支援については、区も積極的に推進している客引き対策等の他部署で実施する事業もあるため、情報共有を行っていく必要があります。

施策② 商店会のマネジメント力の向上

施策担当課	産業振興課	関係課	—			評価 (S~D)	C
成果目標	商店街の組織力が向上し、活動が活発化している						
活動指標		26(当初)	29(目標)	27(実績)	28(実績)	29(予測)	達成状況
商店会(港区商店街連合会に加盟している商店会)に加盟している商店数		3,034店	3,100店	3,020店	3,001店	2,935店	未達成
活動指標の説明、達成状況に関する特記事項	商店会の加入促進策に対し、補助金制度などで支援を続けてきましたが、年々減少しており、大きな要因として港区商店街連合会を脱退する商店会が出てきたことが挙げられます。						
No.	施策の推進のため取り組んでいる事業						
1)	商店街マネジメント力の強化 産業振興課						
	達成状況	商店会の組織活動や運営を支える人材の育成を図るため、専門コンサルタントによるアドバイザー派遣事業を実施し、商店街の経営力強化を支援しています。					
	課題	東京都でも同様の事業を実施しているため、区と東京都の事業を整理する必要があります。					
2)	商店街の組織化支援 産業振興課						
	達成状況	専門コンサルタントによるアドバイザー派遣事業を実施し、商店会の組織的な活動を支援しています。					
	課題	東京都でも同様の事業を実施しているため、区と東京都の事業を整理する必要があります。					
3)	商店会加入の促進 産業振興課						
	達成状況	商店会に加入することで得られるメリットをまとめた加入促進パンフレット等を作成する際の補助金事業(商店街活性化事業)を実施するとともに、港区商店街連合会と区が連名で加入促進パンフレットを作成し配布することにより加入促進に努めています。					
	課題	商店会加入率を高めるための支援策も継続して実施する必要がある一方、加入促進事業を個々の商店会で実施することは人的、費用的に困難であることが多いため、港区商店街連合会等の団体と区で効果的な加入促進策について検討する必要があります。					

施策③ 個性に満ちた元気な個店づくり

施策担当課	産業振興課	関係課	—				評価 (S~D)	B
成果目標	個性に満ちた個店が増え、商店街等が独自の魅力を創出している							
活動指標	26(当初)	29(目標)	27(実績)	28(実績)	29(予測)	達成状況		
店舗を改装した店舗数	6店舗	8店舗	4店舗	4店舗	5店舗	未達成		
活動指標の説明、達成状況に関する特記事項	港区商店街連合会理事会でのチラシ配布やホームページの掲載など積極的な周知を図ってはいますが、事業開始から10年以上経過し、既に実施された店舗が多いこともあり、近年は、年5件程度の申込みと横ばい傾向にあります。							
No.	施策の推進のため取り組んでいる事業							
1)	魅力的な店舗づくりの支援						産業振興課	
	達成状況	小売業等店舗改装事業で改装予定の個店にアドバイザーを派遣し、改装計画を策定するなど、魅力的な店舗づくりを支援しています。						
	課題	販売促進、接客向上、商品力強化といったソフト面での支援も検討していく必要があります。						
2)	空き店舗の活用・マッチングの促進						産業振興課	
	達成状況	商店街の空き店舗活用事業(チャレンジショップ、交流施設等)に係る経費の一部を助成しています。						
	課題	家賃等のランニングコストが商店会の大きな負担となり、事業継続が困難になっています。						